TANITA

Best Weight

電子栄養計算機

システムデジカロII

7002

取扱説明書

保証書付

このたびは、タニタ電子栄養計算機「システムデジカロII」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。正しくご使用いただくために、お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになられた後も大切に保存してください。
本品は、精密機器につき絶対に分解しないでください。

⚠ 注意 誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

- はかりは、平らで、すべらない安定した場所に設置してください。不安定な場所では転倒の危険がありますので使用しないでください。
- はかりのすき間や穴に指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。
- 乾電池を交換するときは、「＋・－」の方向を十分注意してください。
間違えると乾電池の破裂、発熱、液漏れによる火災やケガ、やけどの原因になります。

はじめに

“飽食の時代”といわれる今日、肥満症をはじめ糖尿病、高血圧症、脳卒中など成人病が多く見られ、“1億総半病人時代”などといわれるようになりました。

これらの成人病は、生活習慣、とりわけ食習慣の悪化によってもたらされます。食習慣でいちばん問題になるのはカロリーや塩分の取り過ぎです。

成人病の予防および治療は、それらの正確な計量から始まるといっても過言ではありません。しかも「食品成分表」を使って栄養価計算をするのは、専門家でもなかなか骨の折れるものです。そこでもっと簡単に栄養価計算ができないものかというニーズにお応えして開発されたのが、この電子栄養計算機「システムデジカロII」です。

いつまでも健康で長生きしていただくために、この「システムデジカロII」をご愛用ください。

なお、本機の商品化にあたり、ご意見を賜りました女子栄養大学学長・医学博士 香川 芳子先生に心から感謝申し上げます。
また、資料として科学技術庁資源調査会「四訂日本食品標準成分表」から引用させていただきました。

★☆★ 目次 ☆★☆

■「システムデジカロII」について …… 1
1.概 要 …… 1
2.特 長 …… 2
■各部の名称とはたらき …… 3
■「システムデジカロII」の操作方法 …… 5
1.ご使用の前に …… 5
2.はかりの操作方法 …… 6
3.はかりを使って食品の成分値を計算する方法 …… 7
3-1 基本操作手順(はかりにのせた食品の成分値を知る方法) …… 7
3-2 計算結果を記憶させる方法 …… 8
3-3 計算結果を加算する方法 …… 9
3-4 加算された累計値を呼び出す方法 …… 10
3-5 累計値から減算する方法 …… 11
3-6 計算された成分値を人数で割る方法 …… 12
3-7 記憶値を消去する方法 …… 12
4.はかりを使わないで食品の成分値を計算する方法 …… 13
4-1 あらかじめ重量がわかっている食品の成分値を知る方法 …… 13
4-2 外食のカロリーを計算する方法 …… 14
5.誤ってキー入力をしたときの訂正方法 …… 15
6.その他の注意事項 …… 16
■食品コード番号について …… 17
■乾電池交換について …… 17
■「システムデジカロII」の仕様 …… 18
■「システムデジカロII」使用上の注意事項 …… 19
■修理・サービスを依頼する前に …… 20
■アフターサービスについて …… 21
1.無料修理規定 …… 21
2.保証書 …… 22

◉ memo …… 23

「システムデジカロⅡ」について

1. 概　要

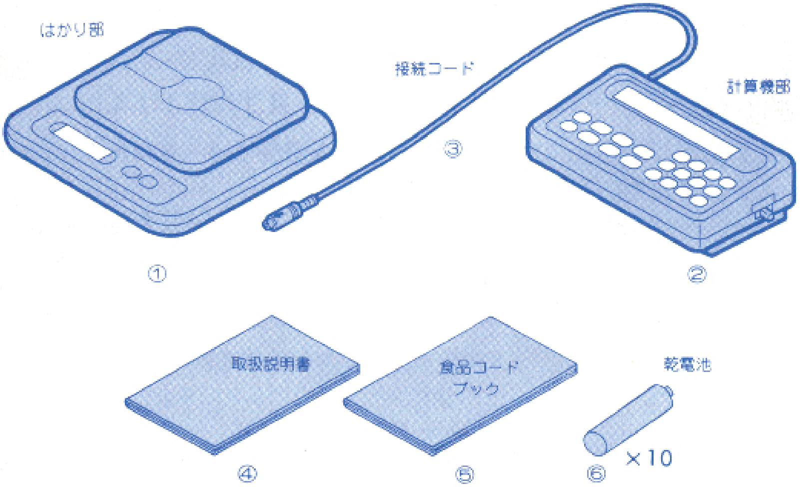
⊙「システムデジカロⅡ」は、はかり部と計算機部とで構成されており２つを組み合わせて、システムとして使用することを基本とします。

⊙計算機部は、はかり部の重量データーのみを受け取って計算処理されます。

⊙システム構成（付属品を含む）

(1) はかり部
(2) 計算機部「食品成分コンピューター」
(3) 接続コード
(4) 取扱説明書（Ａ５判サイズ）
(5) 食品コードブック（Ａ５判サイズ）
(6) 乾電池／単3／10本（はかり用4本、計算機用6本）

メモ　　上記の品物が揃っているかご確認ください。



2. 特　長

⊙食品1.000品目、外食200品目のエネルギー、蛋白質、脂質、糖質、塩分のデーターが収録されており、簡単なキー操作で栄養価計算ができます。(成分データーは科学技術庁四訂日本食品標準成分表に準拠しています)

⊙エネルギー値はKcalまたは点数(1点80Kcal)のどちらでも選べます。

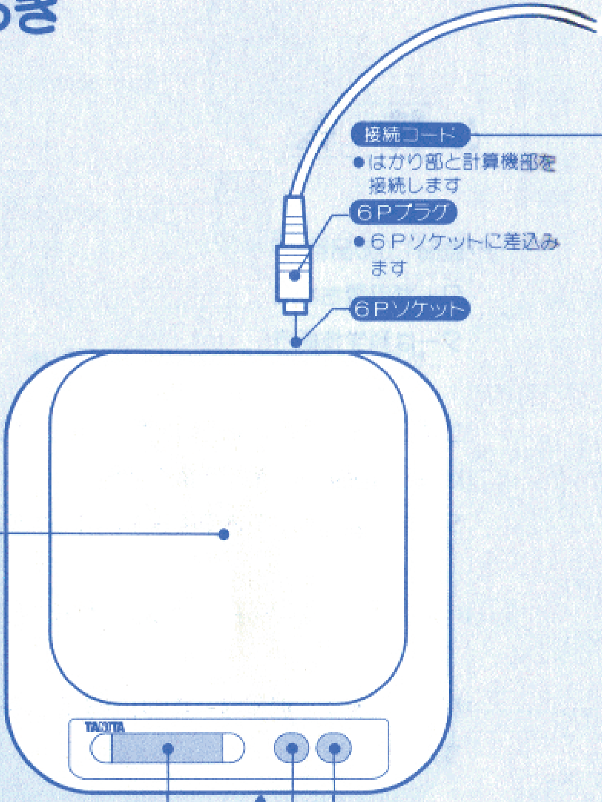
⊙はかりは高精度、最大計量1000g・500gまで1g表示、容器の重さが、ワンタッチで差し引きできる風袋引、さらに追加計量もできる親切設計です。

⊙リビングにもフイットするシンプルなデザインです。

⊙医師、栄養士、糖尿病・高血圧患者からダイエットを志す人まで幅広く使えます。

各部の名称とはたらき

デジタルクッキングスケール
7002
はかり部　本 体



接続コード
●はかり部と計算機部を接続します

6Pプラグ
●6Pソケットに差込みます

6Pソケット

計 量 皿
●食品をのせます

表 示 部

バッテリーボックス

「OFF」キー

「ON・TARE」キー

減算キー
●計算結果を累計値から減算します

加算キー
●計算結果を累計値に加算します

リセットキー
●重量入力モードに戻します

累計消去キー
●累計値(メモリー値)を消去します

電源キー
●電源の入切に使います

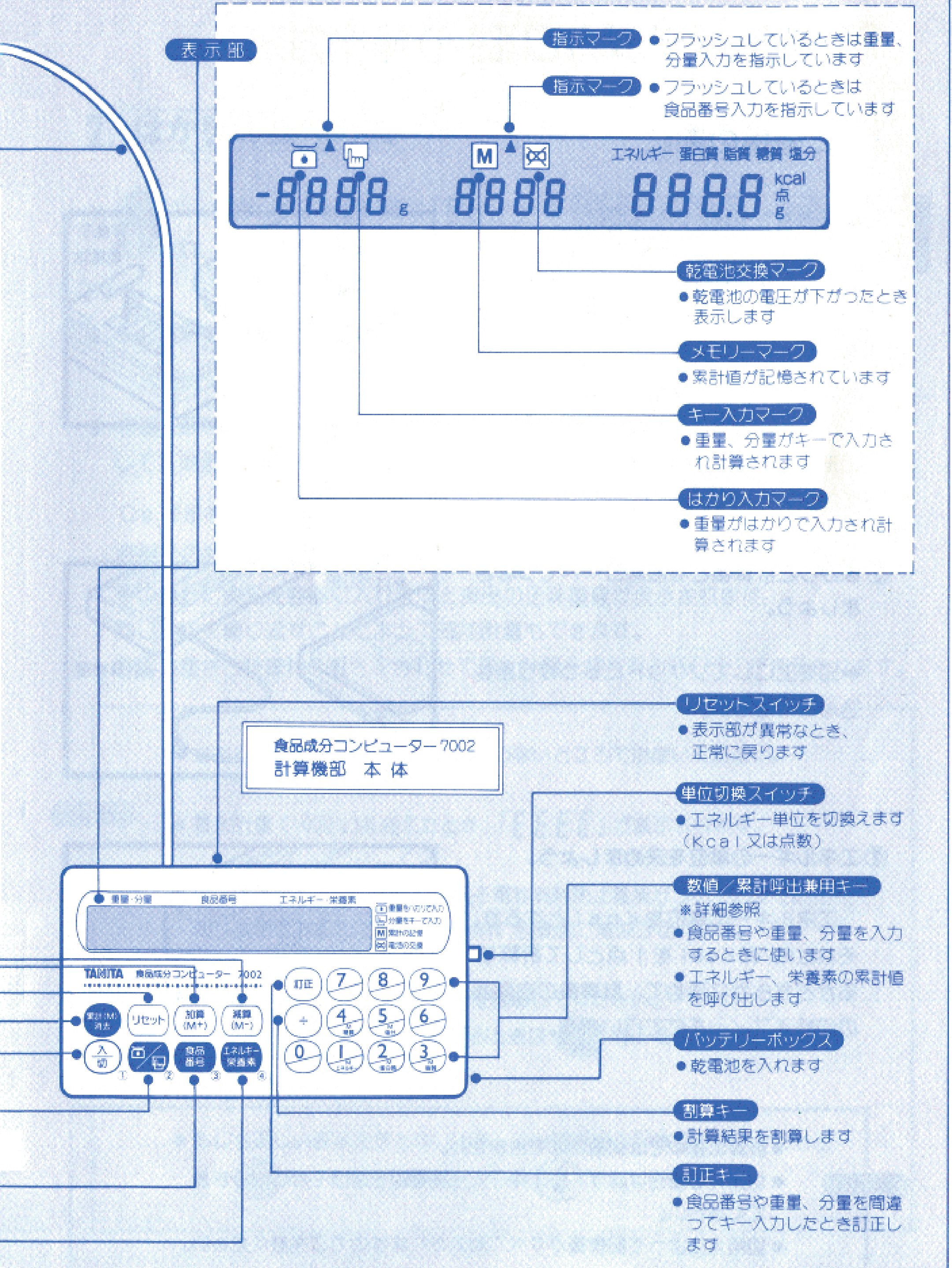
入力切換キー
●重量、分量をはかりで入力するかキーで入力するかを選択します

食品番号入力キー
●食品番号入力を指示します

エネルギー計算キー
●エネルギー栄養素を計算します

※ 数値／累計呼出兼用キー

- 0 —— 0. 数 値
- 1 —— 1. 数値及びエネルギーの累計値
- 2 —— 2. 数値及び蛋白質の累計値
- 3 —— 3. 数値及び脂質の累計値
- 4 —— 4. 数値及び糖質の累計値
- 5 —— 5. 数値及び塩分の累計値
- 6〜9 —— 6.〜9. 数値



表示部
指示マーク
●フラッシュしているときは重量、分量入力を指示しています
指示マーク
●フラッシュしているときは食品番号入力を指示しています
M
エネルギー 蛋白質 脂質 糖質 塩分
-8888 g
8888
888.8 kcal 点 g
乾電池交換マーク
●乾電池の電圧が下がったとき表示します
メモリーマーク
●累計値が記憶されています
キー入力マーク
●重量、分量がキーで入力され計算されます
はかり入力マーク
●重量がはかりで入力され計算されます
食品成分コンピューター 7002
計算機部　本 体
リセットスイッチ
●表示部が異常なとき、正常に戻ります
単位切換スイッチ
●エネルギー単位を切換えます（Kcal 又は点数）
数値／累計呼出兼用キー
※詳細参照
●食品番号や重量、分量を入力するときに使います
●エネルギー、栄養素の累計値を呼び出します
バッテリーボックス
●乾電池を入れます
割算キー
●計算結果を割算します
訂正キー
●食品番号や重量、分量を間違ってキー入力したとき訂正します
重量・分量
食品番号
エネルギー・栄養素
TANITA
食品成分コンピューター 7002
訂正
リセット
加算 (M+)
減算 (M−)
入 切
食品 番号
エネルギー 栄養素

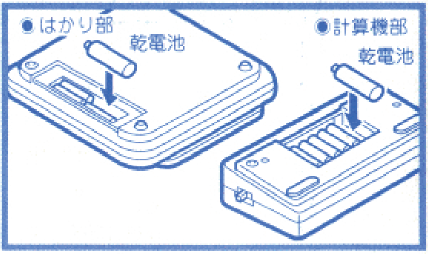
「システムデジカロII」の操作方法

1. ご使用の前に

① 乾電池をセットしましょう。

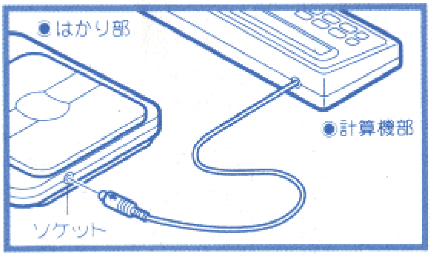
まず付属の乾電池(モニター用)単３ 10本のうちはかりに４本、計算機に６本をそれぞれ本体裏側にあるバッテリーボックスにセットします。

バッテリーカバーを開けてボックス内の指示に従って⊕⊖を正しくセットしてください。



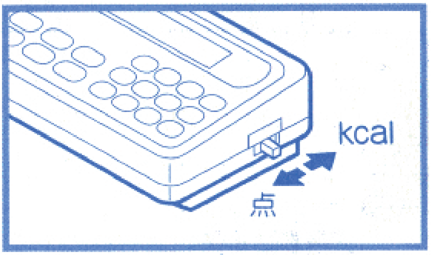
② はかりと計算機とを接続コードでつなぎましょう。

⬅印を上にしてソケットにしっかり差し込んでください。



③ エネルギーの単位を決めましょう。

エネルギーの単位をＫｃａｌとするか、それとも 80Ｋcal を１点として計算するかどちらかに決めて、計算機の右側面の切換えスイッチにて行います。

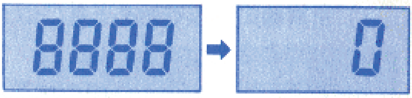


メモ

- 計算の途中では切換えはできません。
- 切換える場合は必ず (入/切) キーで一度電源を切ってからセットしてください。
- 切換えによって記憶値がすべて消去されますのでご注意ください。

2. はかりの操作方法

1. [ON/TARE] キーを押しますと表示部に「8888」が表示され、約２秒後０g 表示に変わります。



2. ０g 表示を確認してから食品を計量皿にのせると表示部に重さが表示されます。

3. 容器（皿やボール）を使って食品の重さをはかる場合は、容器の重さを０gにして正味計量(風袋引)します。

   ０g 表示を確認後、容器をのせると容器の重さが表示されます。
   容器をのせたまま再度 [ON/TARE] キーを押しますと０g 表示に変わります。
   そのあとに食品を容器に入れますと食品の正味重量が表示されます。
   同じ操作を繰り返すことによって追加計量もできます。
   容器の重さと計量物の重さを合わせて最大計量を超えると「EEEE」が表示されます。

メモ

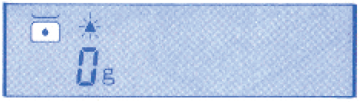
- はかりはできるだけ水平で脚ガタのないところでお使いください。
- 最大計量（1000g）を超えたとき、「EEEE」が表示されます。
- このはかりは電源切り忘れによる電池消耗防止機能がついています。
  同じ表示が５分以上続くと(無操作)自動的に電源が切れます。
- 食品をはかる前に必ず０g 表示を確認してください。
  ０g 以外の数値が表示されているときは [ON/TARE] キーを押して０g 表示に戻してから始めてください。
- もしも正しい表示を示さないとき、又は関係のない数値が表示されたときは [OFF] キーを押してやり直してください。

3. はかりを使って食品の成分値を計算する方法

3 — 1 基本操作手順 はかりにのせた食品の成分値を知る方法

① 計算機の操作を始める前にはかりの [ON/TARE] キーを押し、はかりの表示を0gにしておきましょう。
さあ、牛ヒレ肉（200gと仮定）を例としてKcalではかってみましょう。

② [入/切] キーを押し マークが表示されていることを確認します。……………………………



メモ

● もし マークが表示されている場合は キーを押して切り換えてください。

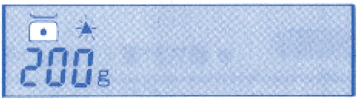
● 切り換わらない場合は

ⓐ接続コードがはずれていませんか（正しく差し込んでください）

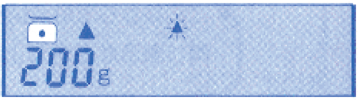
ⓑはかりは0g表示されていますか（[ON/TARE] キーを押してください）

ⓐ～ⓑを確認後もう一度 キーを押してください。

③ はかりに牛ヒレ肉をのせます。………………………



④ [食品番号] キーを押します。………………………………



⑤ 食品コードブックを参照して牛ヒレ肉の４桁コード(2503)を [2] [5] [0] [3] キーを押して入力します。…………………………………

⑥ 牛ヒレ肉200gの成分値を [エネルギー栄養素] キーを押して求めます。

[エネルギー栄養素] キーを押します（１回目）・エネルギー値が表示されます。……………………

↓

[エネルギー 栄養素] キーを押します(2回目)・蛋白質値が表示されます。……………………………

↓

[エネルギー 栄養素] キーを押します(3回目)・脂質値が表示されます。……………………………

↓

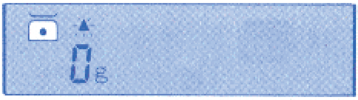
[エネルギー 栄養素] キーを押します(4回目)・糖質値が表示されます。……………………………

↓

[エネルギー 栄養素] キーを押します(5回目)・塩分値が表示されます。……………………………

もう一度 [エネルギー 栄養素] キーを押しますと最初に戻り、以下順次繰り返されます。……………………

⑦ 続けて次の食品をはかる場合は (リセット) キーを押しはかりから牛ヒレ肉をおろします。…………

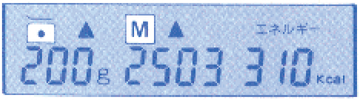


次に、はかり0g表示を確認してから食品をはかりにのせ ④ の操作から繰り返します。

⑧ 終了する場合は (入/切) キーを押し、最後にはかりの (OFF) キーを押して電源を切ります。

3 — 2 計算結果を記憶させる方法

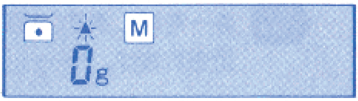
⑨ ⑥ の操作後 (加算(M+)) キーを押しますと計算されたそれぞれの成分値が記憶され M マークが表示されます。……………………………



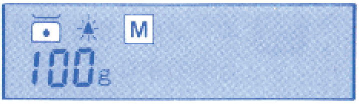
3 ― 3　計算結果を加算する方法

牛ヒレ肉(200g)に生たら(100g)の値を加算するケースを想定しましょう。

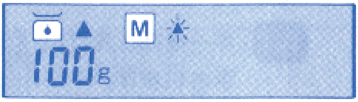
⑩ ⑨の場面より〔リセット〕キーを押し、はかりから牛ヒレ肉をおろします。……………………………



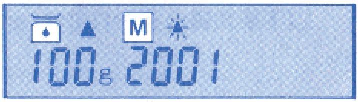
⑪ はかりに生たらをのせます。………………………



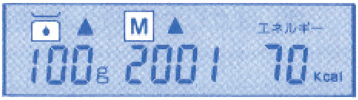
⑫ 〔食品番号〕キーを押します。………………………



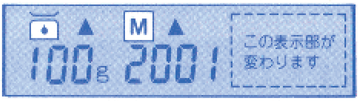
⑬ 食品コードブックを参照して生たらの４桁コード(2001)を〔2〕〔0〕〔0〕〔1〕キーを押して入力します。……………………………………



⑭ 〔エネルギー栄養素〕キーを押しますと(１回目)・エネルギー値が表示されます。………………………

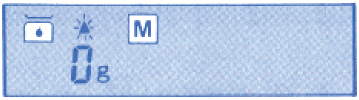


続いてキーを押しますと(２回目)➡蛋白質値・(３回目)➡脂質値・(４回目)➡糖質値・(５回目)➡塩分値が表示されます。………………………



⑮ 〔加算(M+)〕キーを押します。これで牛ヒレ肉に生たらの値が加算記憶されました。

〔リセット〕キーを押し、はかりから生たらをおろします。……………………………………

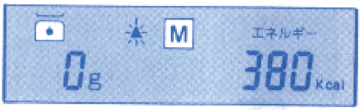


3 — 4 加算された累計値を呼び出す方法

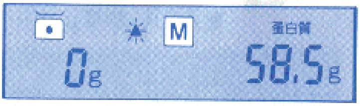
⑯ 牛ヒレ肉(200g)と生たら(100g)の成分加算値を呼び出したい時は (リセット) キーを押した後(⑮の場面)又は (エネルギー 栄養素) キーを押した後(⑭の場面)に累計呼出しキー(数値キー)を押します。

(この表示は⑮の場面)

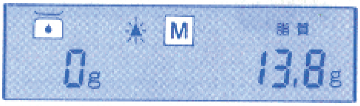
(1 M エネルギー) キーを押し続ける間のみエネルギーの累計値が表示されます。……………………………



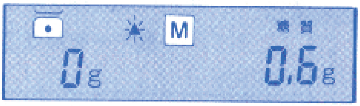
(2 M 蛋白質) キーを押し続ける間のみ蛋白質の累計値が表示されます。……………………………



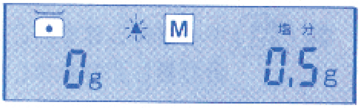
(3 M 脂質) キーを押し続ける間のみ脂質の累計値が表示されます。……………………………



(4 M 糖質) キーを押し続ける間のみ糖質の累計値が表示されます。……………………………



(5 M 塩分) キーを押し続ける間のみ塩分の累計値が表示されます。……………………………



メモ

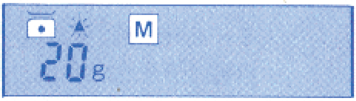
- いずれもキーを押し続けている間のみ呼び出すことができますが、キーを離すと前の場面に戻ります。
- (☞) マーク表示の場合は (エネルギー 栄養素) キーを押しながら累計呼出しキーを押してください。

3 ― 5　累計値から減算する方法

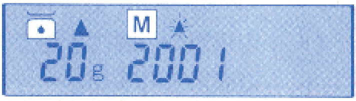
加算された食品を食べきれずに残した場合とか、貝殻や骨のように食べられない物が残った場合は、累計値から減算します。

牛ヒレ肉（200g）と生たら（100g）を食べ始めましたが、生たらを少し（20g）残したと想定しましょう。

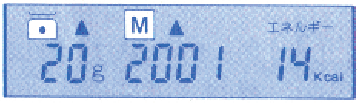
⑰ ⑮ の場面に戻り残した生たらをはかりにのせます。…………………………………………



⑱ [食品番号] キーを押し、生たらの４桁コード（2001）を入力します。…………………………………



⑲ [エネルギー栄養素] キーを押します。………………………………



メモ

● 他の成分値を呼び出す必要はありません。
一度キーを押すことによってすべて計算されます。

⑳ [減算(M-)] キーを押します。これで生たら（20g）分が差し引かれました。

㉑ それでは累計呼出しキーを押して確かめてみましょう。[I/10 エネルギー] キーを押しますと減算されたエネルギー値が表示されます。…………………………

メモ

● 連続減算はできません。必ず [リセット] キーを押してから行ってください。

3 — 6　計算された成分値を人数で割る方法

牛ヒレ肉(200g)を４人で分けると想定しましょう。

⑥ の場面に戻ります。……………………………

㉒ 【÷】キーを押したあと、続いて人数分【4】キーを押しますと割り算され、１人当たりのエネルギー値が表示されます。………

㉓ 次に【エネルギー栄養素】キーを押しますと(１回目)１人当たりの蛋白質値が表示されます。…………………

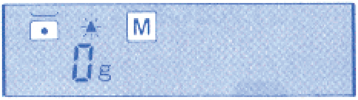
続いて【エネルギー栄養素】キーを押しますと(２回目)➡１人当たりの脂質値・(３回目)➡１人当たりの糖質値・(４回目)➡１人当たりの塩分値が表示されます。……………………………………

メモ

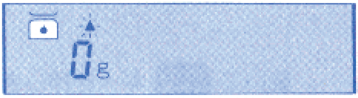
- 割り算は９人分まで有効です。
- 割り算端数は四捨五入です。
- 累計値から割り算はできません。

3 — 7　記憶値を消去する方法

⑩ の場面に戻します。……………………………



【累計(M)消去】キーを押しますと表示部の M マークが消え、記憶値は消去されます。…………



メモ

- 【食品番号】キーを押した後では消去されません。
- 新しく始める場合は必ず前の記憶値を消去してからお使いください。

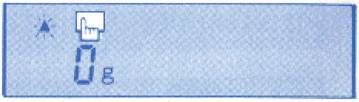
4. はかりを使わないで食品の成分値を計算する方法

「システムデジカロⅡ」は、はかりを使わないで重量、分量を手動入力することができます。あらかじめ重量がわかっている場合、あるいは外食などで目分量しかわからない場合に使います。

4－1 あらかじめ重量がわかっている食品の成分値を知る方法

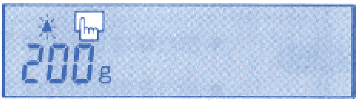
さあ、りんご（200gと仮定）を例として計算してみましょう。

1 （入/切）キーを押し マークが表示されていることを確認します。……

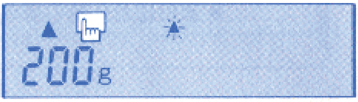


メモ
● もし マークが表示されている場合は キーを押して マークに切換えてください。

2 りんごの重量200gを（2）（0）（0）キーで入力します。……



3 （食品番号）キーを押します。……



4 食品コードブックを参照してりんごの４桁コード（3938）を（3）（9）（3）（8）キーを押して入力します。……

5 （エネルギー栄養素）キーを押しますと（１回目）・エネルギー値が表示されます。……

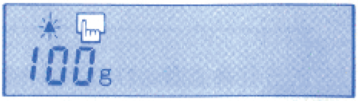
続いて（エネルギー栄養素）キーを押しますと（２回目）➡蛋白質値・（３回目）➡脂質値・（４回目）➡糖質値・（５回目）➡塩分値、が表示されます。……

★ 以下、成分値を計算する方法は、はかりを使った場合と同じ手順で行います。

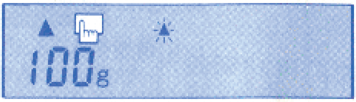
4 — 2 外食のカロリーを計算する方法

外食ラーメン1杯分(目分量)を例として計算して見ましょう。

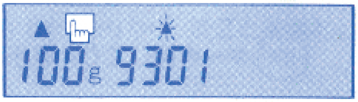
6 1 の場面に戻り、ラーメン1 杯分を100％と換算し分量 100gを (1) (0) (0) キーで入力します。……………………………



7 (食品番号) キーを押します。……………………………



8 食品コードブックを参照して、外食ラーメンの４桁コード(9301)を (9) (3) (0) (1) キーを押して入力します。……………………………



9 (エネルギー栄養素) キーを押しますとエネルギー値が表示されます。……………………………

メモ

- １杯、１個を100(%)と換算します。単位はパーセントですがgで表示されます。従って半分の時は50g、２杯の時は200gを入力してください。
- 外食はエネルギー値(目安)のみ収録されています。

5. 誤ってキー入力をしたときの訂正方法

(1)食品コード番号を間違って入力したとき。

(訂正)キーを押して一旦番号を消去し、正しい番号に入力しなおしてください。

メモ

● 収録されていない食品番号を入力して (エネルギー 栄養素) キーを押しますと、食品番号表示部に EEEE が表示されます。このときは、(訂正)キーを押して正しい番号を入力してください。

(2)重量・分量値を間違って手動入力したとき。

(訂正)キーを押して0g 表示に戻し、正しい値に入力しなおしてください。

メモ

● 食品番号を入力する前に (訂正) キーを押してください。

(3) (加算 (M+)) (減算 (M−)) 又は (÷) キーを間違って押したとき。

(訂正)キーを押して訂正します。

メモ

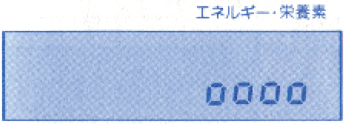
● リセットする前に (訂正) キーを押してください。

6. その他の注意事項

〈表示について〉

● データーが収録されていない場合とデーターが無視しうるくらい小さい数値である場合のいずれかを表わします。

● データーが収録されていない食品番号を入力したことを表わします。



● 計算されたエネルギー値が [9999Kcal 999.9点] オーバーしたことを表わします。

● 栄養素値が 999.9をオーバーしたことを表わします。

〈リセットスイッチについて〉

● 表示部に異常をきたしたときは、リセットスイッチを押してください。正常に戻ります。

〈オートパワーオフについて〉

● 計算機は、消し忘れによる電池消耗防止のため、表示部が約５分間変化しない場合(無操作)自動的に電源が切れるオートパワーオフ式を採用しています。

食品コード番号について

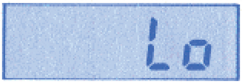
■食品コード番号は女子栄養大学が考案した栄大コードに基づいて、非常にわかりやすく作られています。

■詳しくは別冊の「食品コードブック」を参照してください。

乾電池交換について

〈はかり〉

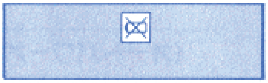
■はかり表示部に「Lo」マークが表示した時は、新しい乾電池(単3×4本全部)に交換してください。



メモ
- 消耗の著しい乾電池を使用した場合、表示部は「Lo」表示後、電源が即、切れます。

〈計算機〉

■計算機表示部に乾電池交換マーク ⊠ が表示した時は、新しい乾電池(単3×6本全部)に交換してください。



メモ
- 乾電池を外すと、すべての記憶値が消去されますので、交換前に必ずメモを取るようにしてください。
- 付属の乾電池は工場出荷に際し、厳重に品質検査を実施しておりますが、ご使用時、時間経過による寿命劣化の場合もありますのでご注意ください。

「システムデジカロII」の仕様

	はかり部	計算機部
型式・品名	7002	食品成分コンピューター
表示	液晶デジタル表示文字高14mm	液晶デジタル表示文字高9mm
最大計量	1000g	
最小表示	500gまで1g,1000gまで2g	
安定所要時間	約2秒	
電源	乾電池単3×4本	乾電池単3×6本
電池使用時間	約6ケ月(1日1回60分使用)	約1.5ケ月(1日1回60分使用)
外形寸法	幅185×奥行186×高さ37mm	幅180×奥行×100×高さ45mm
重量	約630g(乾電池を含む)	約380g(乾電池を含む)
付属品	取扱説明書(保証書付) 食品コードブック(食品1.000品目、外食200品目) 乾電池　単3×10本	
その他	精度の保証範囲	表示成分値
	500gまではかる場合　±2g 500gをこえ1000gまで はかる場合　±4g	(栄養素)　(最大表示) ・エネルギー Kcal　9999Kcal 点(80Kcal)　999.9点 ・蛋白質　999.9g ・脂質　999.9g ・糖質　999.9g ・塩分(食塩相当量)　999.9g

※本仕様は改善、改良のため予告なく変更することがあります。

「システムデジカロⅡ」使用上の注意事項

「システムデジカロⅡ」を
ご使用するにあたって、つぎの事項は必ず守ってください。

①絶対に分解しないでください。

②不安定な場所に置いたり、落したり、ぶつけたりなどの衝撃や振動を与えないでください。

③直射日光の当たるところに放置したり、高熱発生器具（暖房器具、レンジ、オーブンなど)の近くでのご使用はさけてください。

④20℃以上温度の異なる場所に移動させる場合、２時間以上放置してからご使用ください。

⑤水や液体などはかけないようにしてください。水などが内部にはいると故障の原因になります。

⑥汚れた場合、家庭用の中性洗剤を少し含ませて汚れを落した後、乾いたスポンジか柔らかい布で拭いてください。シンナー、アルコール、ベンジンなどの揮発性の液体やぬれ雑巾などは使用しないでください。

⑦長時間使用しない場合、なるべく湿気、ほこり、振動の少ない場所に保管してください。この場合乾電池を抜いておいてください。また計量皿の上には長時間物を置かないでください。

⑧輸送する場合は本製品の入っていた梱包箱を使用してください。

⑨このはかりはお料理用、製薬用などの材料を計ることが主な目的ですので、品物の売買取引や、その他の目方を証明する場合は、このはかりをご使用にならないでください。

修理・サービスを依頼する前に

次の点をお調べください

こんなとき	ここを確認	なおしかた
電源キーを押しても何の表示もしない	消耗の著しい乾電池を使用していませんか	すべての乾電池を新しいものに交換してください
	乾電池が正しくセットされていますか	乾電池を ⊕⊖ 表示に合わせて入れ直してください
はかりと計算機がコードで接続されているのに マークに切換わらない	はかりの表示が消えていませんか、はかりが5分以上無操作の場合自動的に電源が切れます	はかりの ON/TARE キーを押して0g表示にしてください
	はかりと計算機がしっかり接続されていますか	正しく接続してください
計算機表示部に異常な数字が表示されたとき		上部側面のリセットスイッチを押してください

アフターサービスについて

□ご使用中に異常が生じた時は、お買い上げの販売店やお近くの弊社営業所または、お客様サービス相談室にご相談ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。
3. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   ㋑ 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
   ㋺ お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷。
   ㋩ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常圧による故障及び損傷。
   ㋥ 保証書の提示がない場合。
   ㋭ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合。
4. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。
5. 保証書は、再発行致しませんので紛失しないよう大切に保存してください。

TANITA 電子栄養計算機 保証書

本書は、本書記載内容(無料修理規定)で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品　番	システムデジカロII　7002	
保証期間	お買上げ日より　1年	
お買上げ日	年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前	様
	電　話　(　　)	
販売店	住所・店名	
	電話　(　　)	

株式会社 タニタ

〒174 東京都板橋区前野町1-14-2 ☎03(3558)8111(代表)

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問合わせください。

memo

株式会社タニタ

本社・東京営業所	〒174 東京都板橋区前野町1-14-2	☎03(3558)8111(代表)
大阪営業所	〒550 大阪市西区立売堀1-4-12	☎06 (541)3151(代表)
名古屋営業所	〒460 名古屋市中区大須1-24-51	☎052(201)6391(代表)
福岡営業所	〒816 福岡市博多区麦野4-2-6	☎092(575)5761(代表)
仙台営業所	〒983 仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎022(299)7161(代表)
札幌営業所	〒065 札幌市東区北34条東22-123-8	☎011(786)5611(代表)

お客様サービス相談室　〒174 東京都板橋区前野町1-14-2

フリーダイヤル
0120-133821

※お願い−ご不審の点がありましたら、お買い上げ販売店、または弊社へお問い合わせください。